NIE実践報告

1．タイトル：**首相の一日**

2．学校名

岡山県倉敷市立玉島北中学校

3．実践者名（代表者名）

松尾真治

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会（公民的分野）

6．単元（本時の学習課題）名

政治（首相の動向）

7．目標(狙い)

情報を多面的・多角的にとらえる力を養う。

8．評価の視点

継続して首相の動向を分析し、考察することができるか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

・新聞を取っていない生徒への配慮として、毎日記事を教室に掲示しておく。
・人物と、行った場所とを色分けして線を引くことで、読み取りを容易にする。
・分析・考察をすすめる援助として、行った場所や会った人物についてインターネットで詳しく調べさせたり、地図に落としたり（書き込んだり）するなどの作業を取り入れる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「首相の分刻みのスケジュールに驚いた」とか、移動場所の分布から「首相は、都心のごく限られた場所しか移動していない。それなのに日本全国（地方）のことがわかるのだろうか？」とか「閣議って重要な会議って習ったけど、実際は数十分で終わることが多いなぁ」といった鋭い声が上がっていた。

12．成果と課題

新たな角度から読みとっていくことで、今まで気に留めていなかった小さな記事も生き生きとした情報の宝庫と化すことが実証された。また、継続して記事を集め分析することで、より首相の動向に迫ることができたと思われる。